



大分県議会議員 2023年 冬号  
県民クラブ会報(県民ひろば)別府市版

# 原田たかし 会報

教育・福祉・労働

子どもたちが「生まれてきてよかった」、高齢者の方々が「長生きしてよかった」と思える社会を実現するために。

大分県議会議員 原田 孝司

発行責任者：大分県議会・県民クラブ 原田孝司

連絡先：別府市荘園町3組の2 原田たかし事務所 TEL・FAX 0977(25)0011 E-Mail harada@ctb.ne.jp

## 原田、一般質問に登壇 広瀬知事は今春で勇退を表明



### ～大分県議会第4回定例会～

皆様方には、健やかに新年を迎えられたことと存じます、本年がよい年になりますように御祈念いたします。

さて、大分県議会2022年第4回定例会が11月28日(月)から12月14日(水)にかけて開催されました。

広瀬勝貞・大分県知事は、提案理由説明での冒頭、今春の知事選に立候補しないことを報告。知事就任期間中、少子化対策など県の課題に取り組んできたこと、残りの期間も大分県発展のために取り組んでいくと語りました。

予算議案は、10月から販売を開始した「新しいおおいの旅割第2弾」が好調なことから、割引原資として国からの補助金を活用して26億円の追加の補正案を上程。



予算外議案は、大分県立病院における一般医療と感染症医療の両立体制を強化するための医師・看護師・臨床工学技士など職員定員の増員を行う大分県職員定数条例の一部改正案。人事委員会の勧告を基にした職員の給与に関する条例等の一部改正案など15議案が上程されました。

最終日に全て可決されました。



最終日に全て可決されました。

12月5日(月)、原田は一般質問に登壇しました。  
[2・3面に掲載していますので御覧ください]

## 2022年を振り返って

Looking back on

2022

2022年も新型コロナウイルス感染症に振り回された1年だったと感じます。秋になって落ち着くかと思いましたが、まだまだのようです。

一方、感染防止対策をした上での社会経済状況も活発になってきており、別府の基幹産業である観光飲食産業もだんだん賑わいを取り戻しつつあります。



2月24日、ロシアによる隣国のウクライナ侵攻が起き、未だに続いています。全世界が一致して声を挙げ、この戦争を止めなくてはなりません。

併せて、ウクライナ侵攻に起因する原油高騰などによるガソリン代や電気代の値上げ、原材料の高騰による食料品や生活必需品の値上げ、新型感染症拡大を

きっかけとした半導体の供給不足による製造業への影響など様々なものが市民生活を直撃しています。

政治状況を見てみますと、7月に参議院議員選挙。安倍晋三・元総理への事件以降、旧統一教会の問題がクローズアップされ、政治と宗教の関わりが注目されています。

県内では11月に秋篠宮皇嗣御夫妻をお迎えし第45回全国育樹祭が開催。

最後にサッカーの話題。残念ながらトリニータはJ1昇格をかけたプレーオフで敗れてしまいましたが、W杯で日本代表チームはドイツやスペインなどサッカー強豪国に勝利。決勝リーグ進出を決めたときには私も大きな声で「ブラボー！」と叫びました。



## 折り鶴に込めた願い

原田孝司のシンボルマークは平和を象徴する折り鶴です。背景には、教育・福祉・労働を表現する虹がかかっています。

